



防災の取り組みは進んでいるか

東北地方整備局防災対策官 菅原信雄

阪神・淡路大震災から満10年を迎えようとしていた平成16年10月23日、新潟県中越地震が発生しました。直轄国道が、高速道路が止まり、新幹線が初めての脱線にショックを受けた人は多いと思います。被災された方々には心からお見舞い申し上げます、一日も早い復興を願うばかりです。

◆地震概要

平成16年10月23日17時56分頃発生 「新潟県中越地震」と命名
震源地 新潟県川口町付近 最大震度7 その後最大震度6弱以上の余震4回

◆被害概要(12月8日現在) 新潟、長野、埼玉、福島、群馬各県の合計
死者…40人 負傷者…3,000人 避難者…2,906人(最大時10万人超)
全壊住家…2,728棟 半壊住家…9,402棟 一部損壊住家…83,031棟
道路被害…6,062箇所 河川被害…229箇所 崖崩れ…442箇所



写真提供:(社)全国防災協会

ところで、大災害が発生する度に、「教訓は生かされたか」といった検証が求められますが、この度はどうであったか、被災地への応援という面から振り返ってみたいと思います。

- 1 被災直後の大局的情報を迅速に把握するいわゆる30分ルール、震度5弱となった会津地方の被害は軽微であることを発災後約10分にキャッチ、幹部、本省に伝えた後は北陸も睨んだ業務体制を可能とした。
 - 2 直ちにヘリコプター「みちのく号」を北陸地整に向けて発進、赤外線カメラを使った夜間飛行訓練も実施していたので、当日夜からの被害調査、人員輸送などを実施した。
 - 3 被災地への照明及び電源の供給、山古志村などの土砂災害対策のため、照明車、排水ポンプ車及びホース、衛星通信機材を搬送して災害対策業務に供している。
 - 4 被災建築物応急危険度判定、市町村道緊急被害調査等に各地整から応援職員を派遣したほか、今般の特徴的応援として、市町村道災害復旧業務のため各地整から延べ約2,300人・日、東北地整からも延べ約600人・日の職員を派遣した。
 - 5 北陸地整では発災直後に延べ70人・日の防災エキスパートによる応援を得たほか、前記の市町村道災害復旧業務には、地理不案内な他地域からの応援に欠かせないサポーターとして、防災エキスパート延べ159人・日のご協力をいただいた。また、この業務には(社)北陸建設弘済会からも26人・日の応援をいただいた。
 - 6 更に(社)北陸建設弘済会へは、(社)東北建設協会等からも応援している。
- 6 以上が東北地方整備局と関係の深い応援概要であります。東北各県においては、阪神・淡路大震災後に結ばれた「大規模災害時の北海道・東北8道県相互応援に関する協定」に基づき、広範な分野での応援が行われており、土木関係部局では今年度末までの応援職員派遣を予定している。

これらの仕組みや機材の整備は、殆どが阪神・淡路以降に整備されたものであります。計画があるから、訓練をしたからといってそれを完璧に行うことは不可能ですが、さりとて、計画も訓練経験もなく泥縄では何もできません。

防災に対する国民の関心は高く、やればやるほど際限なくメニューはありますが、これからも一歩づつ着実に進めて参りますので、諸兄のご支援・ご協力をよろしく願いたします。

『津波の脅威、対策をどうするか!!』と題し、 平成16年度 防災講演会を開催します ～入場無料 どなたでも参加できます!～

- 日時:平成17年2月1日(火) 13:00～16:00 開場は12:00からです
- 場所:仙台国際センター 大ホール 仙台市青葉区青葉山 TEL.022-265-2211
- 講演スケジュール:
「三陸沿岸を襲う津波のメカニズムについて」(インド洋大津波の現地調査報告もある予定)
東北大学大学院工学研究科附属災害抑制研究センター長 今村 文彦氏
「津波がもたらす災害とその対策について」
岩手県立大学総合政策学部教授 首藤 伸夫氏
※地震・津波に関するパネル展も同時開催の予定です。(防災エキスパートは率先して参加しましょう!)
- 問い合わせ先:国土交通省 東北地方整備局 企画部 仙台市青葉区二日町9-15 TEL.022-225-2171
防災対策官 菅原 信雄(内線3125)

「平成16年度 防災エキスパート研修会」

毎年、恒例となりました防災エキスパート研修会が本年度も青森会場を皮切りに東北6会場で開催され、福島会場を最後に終了しました。

防災対策官からは各会場で「防災業務について」と題し、現在、東北地方整備局で進めている災害対策状況や今年起こった「平成16年7月新潟・福島豪雨」「新潟県中越地震」時の東北地方整備局の体制等を講義いただきました。

また、各ブロック毎に東北地方整備局各事務所長より、様々な災害対策や事例等を講義していただき岩手においては「梁川ダム建設現場」の見学、秋田では各ブロック毎に分科会を開いたり、大変貴重な研修会となりました。



防災対策官より講義

青森ブロック

平成16年10月27日(水) アラスカ会館
東北地方整備局側:青森河川国道事務所長他:21名
防災エキスパート側:34名(登録者47名)



青森ブロック会場

秋田ブロック

平成16年11月15日(月) 秋田パークホテル
東北地方整備局側:秋田河川国道事務所長他:30名
防災エキスパート側:53名(登録者76名)



秋田ブロック会場

秋田県内各ブロック毎にグループ討議を開催

宮城ブロック

平成16年11月11日(木) ハーネル仙台
東北地方整備局側:仙台河川国道事務所副所長他:9名
防災エキスパート側:182名(登録者499名)



宮城ブロック会場



宮城県沖地震に備えての講演
「応用地質学 塚原氏」

宮城県沖地震に備えての講演会を開催

山形ブロック

平成16年11月25日(木) パレスタグランドール山形
東北地方整備局側:山形河川国道事務所長他:25名
防災エキスパート側:61名(登録者86名)



山形ブロック会場

岩手ブロック

平成16年11月17日(水) ホテルルイズ
東北地方整備局側:岩手河川国道事務所長他:21名
防災エキスパート側:58名(登録者83名)



岩手ブロック会場



岩手ブロックでの現場見学
「梁川ダム建設現場」

研修会と現場見学会を開催

福島ブロック

平成16年11月29日(月) 郡山ビューホテルアネックス
東北地方整備局側:福島河川国道事務所副所長他:14名
防災エキスパート側:52名(登録者75名)



福島ブロック会場

研修会を終えて

- ★洪水時に沿川住民が川を見に来ていて、水位がどれくらいなのか、どの程度水位があがりそうなのかを気にしている。(電光式等の)水位表示板のようなものを設置できないか。また、道路情報表示板を利用できないか。住民からの問い合わせが少なくなり、業務に専念できるのではないか。(青森ブロック防災エキスパート)
- ★エキスパートリーダをあらかじめ決め、リーダを通して要請することでうまくいっている出張所があるので、他でもそのような体制をとってもらえればありがたい。(防災対策官)…などの意見が出された。

編集後記

- 今年1月1日初日の出前5時14分頃福島県浜通りで震度4の地震が発生「思いやられる1年になるのか」と思いつつラジオの情報で胸をなでおろす。
- ところでフツと思出したのは“5時14分”この時刻は昭和53年宮城県沖地震と朝夕の違いでまったく一致しているのだ。自然のいたずらか、もう眠れない。“初震覚 災害なしと願うだけ”本当に災害のない1年にと願うのみです。
- インド洋の大津波の映像が連日テレビに映し出されていますが、すごい破壊力に驚くばかりです。2月1日の防災講演会は、津波についてです。ぜひ聞いていただきたいと思います。
- 防災エキスパートの皆様方には良い年でありますように願っています。(穴戸記)